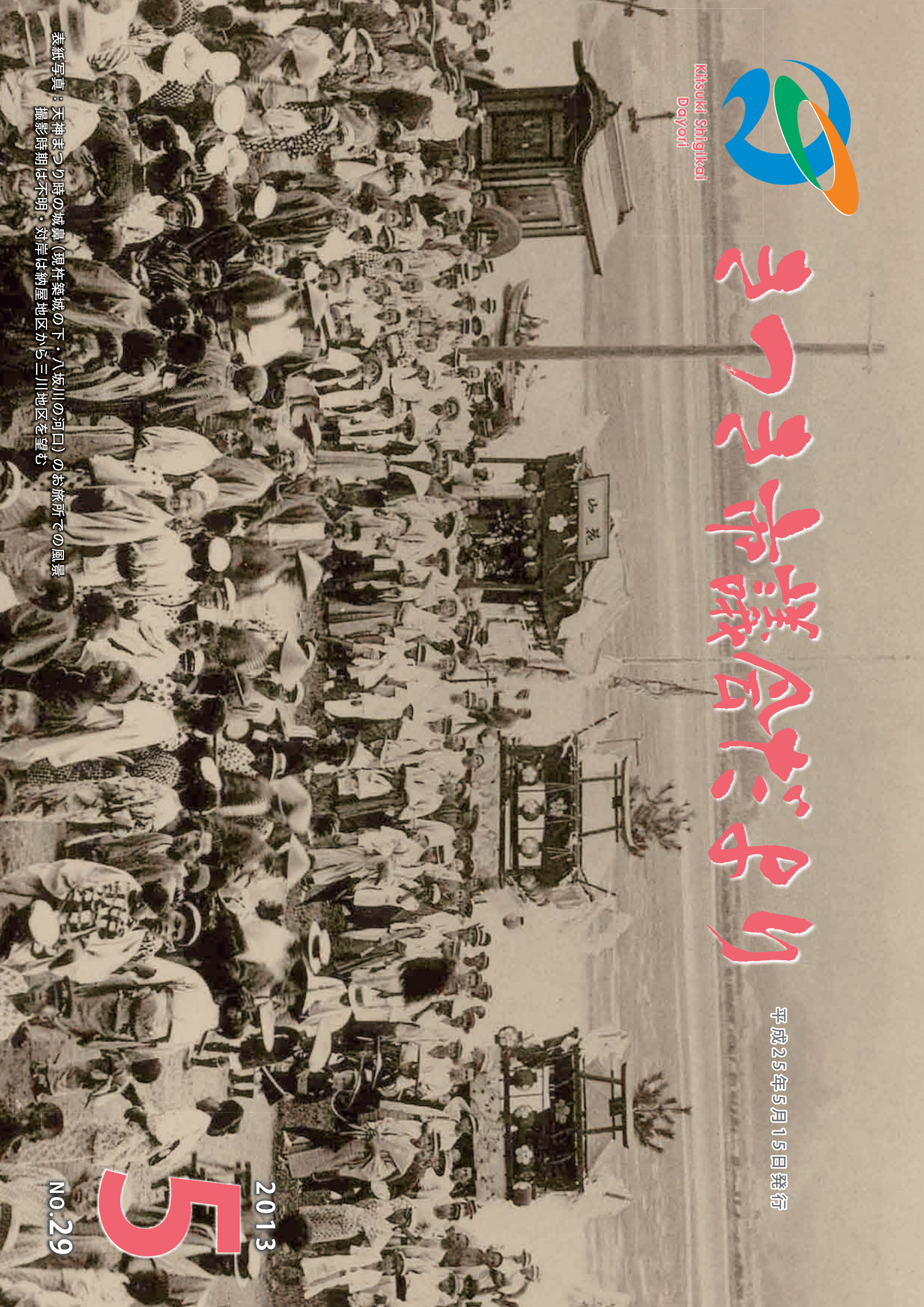




Katsuki Shigikai  
Dayori

# まつり市議会だより

平成25年5月15日発行



表紙写真：天神まつり時の城鼻（現杵築城の下・八坂川の河口）のお旅所での風景  
撮影時期は不明・対岸は納屋地区から三川地区を望む

5

2013

NO.29



# 議案等審議結果

## 平成25年 第1回 定例会概要

平成25年第1回定例会（3月議会）が2月27日に開会され、3月19日までの21日間の会期で審議されました。この3月議会では、64議案（議員提出議案を含む）及び請願陳情6件が審議され、左記のとおり結果となりました。

### 定例会日程

2月27日(水)  
本会議(開会)

3月4日(月)  
本会議(一般質問)

3月5日(火)  
本会議(一般質問)

3月7日(木)  
予算特別委員会

3月12日(火)  
産業建設常任委員会

3月13日(水)  
厚生文教常任委員会

3月14日(木)  
総務常任委員会

3月19日(火)  
本会議(閉会)

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提案議案〕		
1	平成25年度杵築市一般会計予算	可決
2	平成25年度杵築市国民健康保険特別会計予算	可決
3	平成25年度杵築市後期高齢者医療特別会計予算	可決
4	平成25年度杵築市介護保険特別会計予算	可決
5	平成25年度杵築市地域包括支援センター事業特別会計予算	可決
6	平成25年度杵築市簡易水道事業特別会計予算	可決
7	平成25年度杵築市農業集落排水事業特別会計予算	可決
8	平成25年度杵築市公共下水道事業特別会計予算	可決
9	平成25年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	可決
10	平成25年度杵築市水道事業会計予算	可決
11	平成25年度杵築市工業用水道事業会計予算	可決
12	平成25年度杵築市立山香病院事業会計予算	可決
13	平成24年度杵築市一般会計補正予算（第11号）	可決
14	平成24年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
15	平成24年度杵築市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
16	平成24年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
17	平成24年度杵築市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
18	平成24年度杵築市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決
19	平成24年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
20	杵築市自治基本条例の制定について	可決
21	杵築市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
22	杵築市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
23	杵築市公聴会、調査等に出頭又は参加した者に対する費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
24	杵築市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
25	杵築市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決
26	杵築市職員の旅費に関する条例の一部改正について	可決
27	杵築市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	可決
28	杵築市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	可決
29	杵築市家畜導入事業資金供給事業基金条例の廃止について	可決
30	杵築市住民生活に光をそそぐ基金条例の廃止について	可決
31	杵築市手数料条例の一部改正について	可決
32	杵築市児童館条例の一部改正について	可決
33	杵築市老人憩の家条例の廃止について	可決
34	杵築市企業立地促進条例及び杵築市税特別措置条例の一部改正について	可決
35	杵築市農産物直売所条例の一部改正について	可決
36	杵築市家畜診療所条例の一部改正について	可決
37	杵築市市道の構造の技術的基準等に関する条例の制定について	可決
38	杵築市準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定について	可決
39	杵築市営住宅条例の一部改正について	可決
40	杵築市景観条例の制定について	可決
41	杵築市都市計画審議会条例の一部改正について	可決
42	杵築市都市公園整備基準条例の制定について	可決
43	杵築市都市公園における移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定について	可決
44	酢屋の坂下広場条例の制定について	可決
45	杵築市公共下水道条例の一部改正について	可決
46	杵築市都市下水路条例の一部改正について	可決
47	杵築市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	可決
48	杵築市水道事業及び工業用水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	可決
49	杵築市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	可決
50	杵築市消防団条例の一部改正について	可決
51	杵築市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決
52	杵築市教育立市宣言について	可決
53	市道の路線認定について	認定
54	事務の委託の協議について	可決
55	公共下水道事業（大分県下水道船団方式事業）に関する事務の委託に関する規約の一部改正の協議について	可決
56	杵築市観光交流センターの指定管理者の指定について	可決

57	新市建設計画の変更について	可決
58	杵築市過疎地域自立促進計画の変更について	可決
59	平成24年度杵築市一般会計補正予算（第12号）	可決
60	杵築市職員の給与の特例に関する条例の制定について	可決
61	障害者自立支援法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決

〔報告〕

1	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度杵築市一般会計補正予算（第10号））	承認
2	専決処分の報告について	報告
3	専決処分の報告について	報告

〔議員提出議案〕

1	杵築市議会委員会条例の一部改正について	可決
2	杵築市議会会議規則の一部改正について	可決
3	杵築市議会政務活動費の交付に関する条例の制定について	可決

## 請願陳情の審議結果

番号	案 件 名	採決結果
----	-------	------

〔継続審査中の請願陳情〕

9	活動拠点の整備を求める請願書	取下げ
10	市道大重見線拡幅に関する請願書	採択
12	旧杵築市内の市立幼稚園の「給食事業の早期実施」と事業実施にあたり「給食事業検討委員会の設置」についての請願	取下げ

〔議員提出議案〕

1	錦江区の内水と床下浸水について	取下げ
2	旧杵築市内の市立幼稚園の「給食事業の早期実施」について	採択
3	東保育園、山浦保育園、立石保育園の各保育園の4・5歳児の保育料を山香こども園短時間利用児童の保育料と同額の一律5,000円とすることへのお願いについて	継続審査

### 請願陳情第10号

審議した委員会 産業建設常任委員会



#### 市道大重見線拡幅に関する請願書

〔内容〕

本路線は、ネギ栽培農業および酪農の大規模化が進み、近年特に大型車両の通行が多くなっている。一部の区間においては幅員がなく見通しも悪く、軽自動車も離合が困難で、接触事故等が多発している非常に危険な状態である。早期に市道の改良をしてもらいたい。

### 請願陳情第2号

審議した委員会 厚生文教常任委員会



#### 旧杵築市内の市立幼稚園の「給食事業の早期実現」について

〔内容〕

現在、山香地域・大田地域で実施されている給食事業を旧杵築市内の幼稚園に通う子どもたちのためにも早期に実施してもらいたい。

### 請願陳情第3号

審議した委員会 厚生文教常任委員会



#### 東保育園、山浦保育園、立石保育園の各保育園の4・5歳児の保育料を山香こども園短時間利用児童の保育料と同額の一律5,000円とすることへのお願いについて

〔内容〕

東保育園、山浦保育園、立石保育園の各保育園に通園する4・5歳児の保育料を社会福祉法人民生山香福祉会・山香こども園短時間利用児童の保育料と同額の一律5,000円にしてもらいたい。



# 一般質問

## Q & A



平成25年第1回市議会定例会では、3月4日から5日までの2日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、11人の議員が諸問題について質問しました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



有田昭二議員

### 職員採用に関する調査委員会報告書について

**問** 職員採用一次試験の合格者名が、漏えいしていた件について調査するように申し入れをしていたがどうなっているのか。

**答** 特定の市職員が第三者に、一次試験合格者名を漏えいした事実はなかったと調査委員会は結論づけている。

**問** なぜもう少し、しっかり調査しなかったのか。

**答** 漏えいしたと議会で発言した議員からの事情聴取で、連絡のあった方の名前は言うことはできないということなので調査を終了した。

**問** 受験者の弱みに付け込んで、金品を要求されたと発言があったが、採用試験で触法行為が行われていたということは、断じて許されないことであるがどう思うか。

**答** 質問をした議員からの事情聴取では、個人名を特定できなかったもので、調査を終了した。

**問** このまま調査を終了すると、議員は荒唐無稽な質問ばかりしているのか、また議会は茶番劇じゃないかと思われるがどうか。

**答** 調査委員会は強制力のない委員会なのでこれ以上どうしようもない。

**問** 被疑者不詳のまま漏えいした職員を守秘義務違反で告発したかどうか。

**答** その件に関して告発しようとは思っていない。

### 市民会館建設について

**問** 市民の間で、市民会館建設のニーズが高いがどうか。

**答** 現時点では具体的な計画はない。

### 教育問題について

**問** 杵築市教育立市宣言をしようとしているが、いじめ防止に関する対応が全く入っていないがどういうことか。

**答** 現段階では素案なので、これから外部委員の意見も取り入れるための推進協議会を開催し、プランの補強を図りたい。

**問** いじめが原因で進学できなかった、また不登校になった生徒及び家族に対して市は経済的な支援は考えていないか。

**答** いまのところそういうことは考えていない。

**問** 市教委の対応がまずい故、いじめにあった生徒二人が被害届、加害者に対して損害賠償届を提出しているのを知っているか。執行部、市教委ともども、もう少し真摯にいじめに対して取り組み、生徒の安全確保をしてもらうことを切に願います。



中山田昭徳議員

### 支援教諭の配置について

**問** 大規模校の30人学級実現のための支援教諭の配置は大賛成だ。だが一方で大田・山香地域の二つの複式学級がある小学校5校の支援教諭を各1名削減する理由は。

**答** 複式支援教諭は複式解消の目的ではなく、複式支援の位置付けで配置をしてきた。今まで2名配置してきたが、来年度から1名配置とし5名が減る。しかし、日課表を工夫し、支援教諭が両方の複式学級を担当することで、国語・算数・理科・社会等の教科においては学年別の授業を行うので、学力保障はこれまで通りできる。

**問** 削減案がすでに決定後に教育委員会に出され、十分な審議がなされなかったのは、委員会軽視では。

**答** 例年、予算については2月定例委員会と協議している。学習の質を落とさないように日課表等の工夫、優秀な人材の確保に努める等の意見があり、特に留意していく。

### 図書館の建設予定地について

**問** 来年度予算に図書館の設計委託費5千万円、地質調査費350万円が計上されているのに、建設場所が決

まっていないのはなぜか。決定を先延ばしにしては予算執行が遅れ、杵築中学校の整備にも影響するのではないか。

**答** 候補地は、旧市民会館跡地と旧消防署跡地周辺を考えている。中学校建てかえ工事との関係もあり、建設策定委員会が3月末答申の予定で、最終的な取りまとめを行っている。委員会では寄りつきや中高生の利用を考えると旧消防署跡地周辺がいいのではという意見が多いような感じがする。答申を受けて早急に決定していく。

### 図書館の建設予定面積は。

**問** 文科省が一定の基準、基本的なモデル、数字を出しており、杵築市の場合は2千㎡から2千4百㎡ほどになる。消防署跡地周辺の場合は、隣接する農業委員会等の建物の敷地面積も含めて検討している。

### 病後児保育について

**問** 保育園に通園できない病後児の保育は、長期の休暇が職場において取りにくく、特に核家族では大きな子育ての課題になっている。近隣の自治体では子育て支援策として実施する自治体が増えている。杵築市においても早急に実施すべきではないか。

**答** 必要性は十分認識している。目標年度を平成26年と定め、実施する。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



阿部直瑞議員

### コミュニティバスについて

**問** 高齢者にとっては買い物、通院などの市内での主要な移動交通機関としての役割を果たし、好評である。高齢者が元氣を取り戻すためにも自分の意志と体力で出かけ、他の人とのふれあいが大事だ。公共施設付近、商店街などの利用者の多い停留所に雨、風をよけることのできる施設をつくることはできないか。

**答** 停留所ごとの利用者の状況や用地など周辺環境を調査してみたい。

### 乗合いタクシーについて

**問** 自宅から目的地には行けるが、自宅に戻ろうとするとその目的地では乗合いタクシーが停車しない停留所がある。この不便さを改善してもらいたいとの声があるが。

**答** 利用者の意見を伺いながら見直しを行いたい。4月からは山香の友岡医院にも停留所を設ける。

### 体罰・暴力について

**問** 年明け早々に大阪市立桜宮高校バスケットボール部の主将が顧問の教諭から体罰を受け、自殺をする痛

ましい事件が起きた。柔道女子の日本代表選手たちが全日本女子の監督ら指導陣による暴力行為があったとして日本オリンピック委員会（JOC）に訴えていたことが明らかになり、体罰や暴力が大きな社会問題となった。教育委員会として、また市内の学校内では、体罰や暴力についてどのような考え、またそれらを排するための手立てはどのようなにしているのか。

**答** 体罰による指導では正常な倫理観を養うことはできず、むしろ児童・生徒に力による解決への志向を助長させ、いじめや暴力行為等の土壌を生む恐れさえある。体罰は法令に反する行為であり、愛の鞭という言葉でかたづけられるものではないという認識に立ち、各学校では計画的に服務規律研修を実施している。体罰禁止について保護者とも共通認識が図れるようにしていく必要がある。

**問** 社会教育の中で、スポーツを楽しむ上手になる喜びを味わう機会を奪う体罰や言葉の暴力などがあつてはならない。スポーツ少年団などで指導者育成にどのように取り組んでいるのか。

**答** 今後、市内のスポーツ少年クラブやスポーツ少年団指導者の組織化を図り、相互の連帯や指導理念の徹底を図るため、市独自の指導者研修を計画し、体罰や暴力の防止はもとより言葉づかいや態度も含め、指導者の資格を高めていきたい。





河野 正治議員

## 市立山香病院について

**問** 事業管理者兼院長の辞任した経緯について。

**答** 昨年末から医師や看護師から病院のあり方について相談があった。院長と話し合った結果、2月28日をもって一身上の都合により辞任する旨の願いが提出、これを受理した。

**問** 健診せねセンターの今後の活用について。

**答** 建物は整形に特化した機器や施設の仕様ではない。今後は患者の推移をみながら外来及び病棟の仕様を考えていく。

**問** 医師確保の見通しと整形外科の診療体制について。

**答** 大分大学医学部並びに大分県にもご相談を申し上げ、全面的な応援をいただける約束ができています。整形外科診療は引き続き、体制を整備して行く。脊椎手術の行える医師の招聘も計画している。

**問** 事業管理者及び院長の選任について兼任か、それとも専任か、どのように考えているか。

**答** 選任については県の指導をいただき大分大学病院に依頼している。当面の措置として3月1日

に副院長を事業管理者代行に、診療部長、看護部長を代行補佐に辞令を交付し、病院管理にあたらせている。また、事業管理者と院長は別にといいお願いをしている。

**問** 今後の病院運営の方向性についてどのように考えているのか。

**答** 事業管理者が整形外科の専門であったため病床の多数を占有し、自治体病院でありながら整形に特化していた。今後は周辺病院との連携、地域の医師会との関係強化を図りながら地域包括ケアシステムを確立し、地域の中核病院として地域医療を進めてまいりたい。また、

外来患者の確保として新たに認知症外来の新設も検討している。いずれにしても新しい事業管理者が決定した後、将来を見通したなかで議会の指導をいただきながら方向性の計画は立てたいと思っている。

**問** 病院本館の老朽化が激しいが、改築等の整備計画についてどのように考えているか。

**答** 築後30年以上を経過、特に背骨病棟と普通病棟の格差が激しく患者から苦情が出されている現状である。病院新体制のもとと行政、議会と一体となって病院建築の検討を開始する必要があると思う。

## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



西 紀子議員

## 5歳児健診について

**問** 平成25年度より発達障がい児早期支援が事業化したが、①施設整備や人材育成は整っているのか。②発達障がいやその可能性がある子どもには十分な配慮や相談体制ができて

いるのか。③県内では、医師や療育の場が不足していると聞くが支援体制はできているのか。

**答** ①健診事業において、市内の小児科の先生等に協力をいただき、また県が大分大学医学部附属病院に委託し、「発達障がい児等こころのネットワーク推進事業」を実施しているなかで、先生方の指導をいただき研修を重ね、情報を交換し、不安を抱える保護者に安心して就学できるようにしていきたい。②5歳児健診の方法は全員を対象としない相談会方式で行うが、第一段階は5歳児の保護者全員に観察シートを配布、ペーパーをもとに保健師が面談し、状況を確認する必要がある子どもや、乳幼児健診で相談を受けている子ども、保育園や幼稚園の先生方から相談を受けている子どもに対して相談会への勧めをする。また、大分大学医学部附属病院の先生に指導を仰ぎ、機能訓練が必要な場合は、別府発達医療センターなどの専門機

関での訓練が受けられるようにつなげていく。③専門性を必要とする施設、機関は不足気味である。大分大学医学部附属病院が「子どもの心の診療拠点病院」として、小児精神専門医など市町村の相談会に派遣するようになっている。各種の機関と連携を密にしながら取り組んでいく。

## 病児・病後児保育について

**問** 子育て中には働く母親も多く、勤務の都合上、在宅での保育が困難な状況もある。女性が安心して働く環境の整備をするため病児・病後児保育事業はできないか。

**答** 子育てには必要と考えるが医療機関の協力が必要である。市内の医療機関を含め、目標年次の平成26年度に向けて、協議、検討していく。

## 通学路の安全対策について

**問** 通学路の安全総点検を実施したが進捗状況は。また、ハード、ソフト両面の具体的な計画は。

**答** 東部振興局を中心に通学児童の安全確保対策会議を開き、今後の方向性を確認し、対策と対応を決めた。総危険箇所数は47カ所です。すでに改善済みが4カ所、発注済みが1カ所で、今後の緊急性や重要性を考慮し実施する。



阿部 幸市議員

### 山香こども園について

**問** 保育園、幼稚園、山香こども園の違いは。

**答** 保育園は、児童福祉法により、保育にかける乳児または幼児を保育することを目的とする施設。

幼稚園は、学校教育法のもと、幼稚園教育要領に基づき運営がされ、義務教育などの基礎を培うものとして、幼児を保育する施設。山香こども園は、保育園の機能と幼稚園の機能の両方を兼ね備えた施設である。通園する対象者の年齢は、保育園は、0歳から5歳の乳幼児が対象で、保護者の保育にかけることが条件であり、保育時間は基本的に11時間である。幼稚園は、満3歳から小学校就学期に達するまでの幼児で、杵築市の場合、4歳、5歳の2年で保育教育時間は、4時間である。山香こども園は、保育園の機能と幼稚園の機能の両方を兼ね備えた施設で、11時間保育を希望する乳幼児と4時間の教育を希望する幼児が通園をする。

**問** 幼稚園の保育料はいくらなのか。

**答** 杵築市立幼稚園の保育料は一律5,000円である。

**問** 山香こども園の短時間利用、幼稚園児の保育料はいくらなのか。

**答** 短時間利用は1万5,000円であるが、杵築市立山香幼稚園の廃園に伴い、山香幼稚園に通園をしていた4歳児は、山香子ども園の幼稚園部に行くこととなり、保育料が1万円高くなる。また、新たに山香幼稚園に通園しようと考えていた方にとっても、山香こども園の幼稚園部に行くことで負担が増えることから、市が1万円を助成し、これまでと同じ5,000円となっている。

### 山香地区の小学校の今後について

**問** 議会、区長会等には山香地区の小学校の統合等について一切ふれていないが、今後の計画等は。

**答** 市内の小中学校の統合について、模検討委員会の提言書に基づき、平成21年に地域住民、市議会、保護者、学校関係者の代表者の方々による適正配置検討委員会、並びに旧市町村ごとに地区委員会を設置して審議をしていただいた後に、学校別に小学校と幼稚園、保育園の保護者にも説明会を開催している。山香地域では、平成24年度に、再度、全小学校のPTAにおいて、将来の児童数や学校統廃合の必要性を説明し、さまざまのご意見を伺っている。平成25年度には、各地区の役員会や総会でご説明させていただきよう、各区長の代表にお願している。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



加来 喬議員

### 通学路の街灯設置について

**問** 杵築市では地域の街灯設置費や電気代などの維持費は受益者である地域の人や班、区が負担をしている。ところが、区と区の境や住宅の少ない路線は設置費用を負担する人や班、受益者がいない、つまり、設置者不在のために街灯が設置されず、夜道が暗いままになっている。昨年行った市民との意見交換会でも「街灯がなく、部活動で夜遅く帰る生徒をよく見かける」「暗くて危険なので設置をしてもらいたい」という要望が出された。その後も、別の地域で通学路の街灯設置の要望をいただいた。設置者不在のために夜道が暗い通学路について、PTAや保護者と協議しながら、LED街灯を設置することはできないのか。また、高校は県の管轄なので、県とも協議をして応分の負担を求めることはできないのか。

**答** 通学路の安全点検は、学校ごととに年1回の調査を実施している。市内の3中学校では、今年度初めに保護者へのアンケートを実施し、杵築中学校では安全マップも作製した。アンケートの結果、何力所かの通学路が暗いとの回答もあったが、該当する通学路の範囲が広い

ため、保護者にも理解をいただいている。昨年11月に行った、九州地方整備局、別府土木事務所、杵築日出警察署、杵築市の総務・建設課の合同点検では照明の指摘がなかったが、学校、保護者と協議を

して対応していきたい。

**問** 受益者がいないために街灯が設置されていない通学路については、保護者やPTAが求めた場合にはこれは設置していくべきだと考えるが、市長はどのように考えているのか。

**答** 具体的にどことか、この辺はつけとったほうがいいのか、というのはないのかというような形があれば、ご進言いただいてPTA等々の中で、市道ということであれば私どもで検討せざるを得ない問題だと思っている。県道・国道については、県のほうに上げて陳情することになると思う。

**問** 別府市では街灯を全部市が設置し、維持管理費も市が負担をしている。杵築市でも言うつもりはないが、受益者がいなくて暗い通学路で、保護者の要望があるところにはつけて頂きたい。





小春 稔議員

## 柑橘農協の支援策について

**問**

柑橘農協は昭和38年設立、今年で50年を迎える。半世紀にわたる柑橘専門農協として市の産業を支えてきた。当時の市長は産業の中心に「柑橘興市」を掲げ、まちづくりを推進してきた。当農協もピーク時はハウスマカンを中心に10億円近い売上げにもなったが、長引く経済不況、消費の減退傾向と燃油の高騰等で生産は減少した。今役員のかたも懸命に頑張っておられるが、最悪の状態になる前に組合長も解散を決断しなければならぬ状況にきている。行政として、土地の売却問題も含めて支援策をお願いしたい。

**答**

昨年より自主解散へ向けての支援要望があり、JAおおいた杵築事業本部等も交え、数回協議を行ってきた。今後も継続して行政として支援できる範囲で対応したい。望ましいのは農協間で何とかしていただくありがたいと思つて、今日までできたが、今後は市の活性化につながるホテル等々、買主、用途も含めて検討し、その結果をお伝えしたいと思つている。

## 水道の補助率について

**問**

現在市で運営する公営の水道事業、これに準ずる簡易水道があり、特別会計として運営されている。しかし、この水道事業の恩恵を受けたくても受けられない各地域にある数人規模の共同水道はその運営も非常に厳しく、保守や点検、また修理や新設ともなると、30%程度の補助では大変な自己負担となる。以前からこの問題をとりあげてきたが、市民の生活飲料水に対する不公平感はあまりに大きい。せめても50%以上の補助率の引き上げで不公平感を少しでも少なくすべきではないか。

**答**

市では現在「水道施設整備事業補助金交付要綱」によると戸数3戸以上の共同水道で、工事費20万円以上の新設、増設、改修をする場合、30%の補助をするとなつてゐる。今後この補助金交付要綱を見直して率を上げる方向で検討したいと考えている。

**問**

補助率の要綱改正へ向けて具体的な数字をもう少し踏み込んで示せないのか。

**答**

他市との状況を調べた結果、杵築市ではやはり落ち込んでゐると思つてゐる。要綱を改正して、ご理解を得られれば、6割ぐらいの補助率でいけたらと思つてゐる。



藤本治郎議員

## 山香病院について

**問** 院長辞任にあたり、当初予算が24年度とあまり変わらないが収益の減少等問題はないか。

**答** 25年度の予算は本年1月末に作成し、2月末の突然の院長の退職に伴い収入減が予想されるが、今後の運営方針や新体制が整いしだい補正等で対応したい。

**問** 今後の病院運営の展望は。

**答** 自治体病院は、医師の確保も経営も難しい、安定した経営のため、県や大学病院の指導をお願いした。

**問** 今後も特色（背骨センター）のある自治体病院を目指さないのか。

**答** 整形外科を廃止する考えは無く、標準的な総合病院を目指し経営していく。

## 防災・防犯について

**問** 海抜表示板の設置状況と予定は。非難場所での表示は。

**答** 現在460枚設置済、今後200枚を追加、海岸部45行政区にて80枚、公共施設で120枚を設置予定、避難場所は原則8m以上、希望があれば対応する。

**問** 昨年の「タクシードライバー殺人事件」後、防犯カメラ設置等の対策はどのようになってゐるのか。

**答** 現在防犯カメラは市内11ヶ所で29台、治安を目的とした録画機能付防犯カ

メラは特に無く、県も設置をしていない。今後の課題として協議をしていく。

**問** 学童の通学路危険箇所指摘場所、交通事故が発生したが対策はできなかったのか。

**答** 横断歩道の設置を、7月10日に杵築日出警察署に提出したがいまだ設置していない。今後、確認と働きかけをしていく。

## 図書館計画について

**問** 当初予算5,000万円が計上されたが、進捗状況は。

**答** 3月末に図書館整備基本計画の提言書を教育長に提出し、建設場所も早急に決めていく。

**問** 館内に視聴覚室と文化活動の発表のできる空間（ホール）へと充実させては。

**答** 100席程度のホールを整備したいと考えている。

**問** 市民会館（文化ホール）の計画の議論をしないのか。

**答** 執行部内では具体的な議論をしていないが、市民の要望も多いので、財政的裏付けを含め検討を始めていきたい。

## 虫歯予防について

**問** 全国フースト5に入る県内学童の虫歯保有率、予防対策としてWHOや厚生労働省の推奨のフッ素洗口を取り組まないのか。

**答** 実態等によって必要な時は、学校歯科医の管理指導のもと、教職員と保護者の理解と同意を得る必要がある。まずは校長や養護教諭等に意見を聞き、専門的研修が必要か判断する。





岩尾 育郎議員

## ふるさと納税の推進について

**問** 杵築市では25年度の新規事業としてふるさと納税をしていた方に対し、その金額に応じて杵築市の産品を送ることとしている。ふるさと納税というどうしても遠く離れて暮らす方々を対象として考えがちだが、近隣の市町村から杵築市に通勤している人を対象としてより効果的な取り組みができないかという観点から質問する。まず、市外から通勤している市役所・病院関係者、そして市内の事業所に勤務している人の数は。

**答** 市役所が55名、山香病院が69名、市内の事業所に勤務する人は、平成22年の国勢調査で3,895人となっている。控除限度額いっぱいを寄付した場合、実質的な個人負担額はいくらになるのか。

**問** 市の特産品を送るという取り組みは全国の何百という自治体で行っているが、近隣市町村から通勤している人にとって魅力があるとは思えない。納税をしてみようと、まず2000円の自己負担、そして納税と確定申告の手間と、金銭的・時間的な負担をしていただくことになるが、それ以上の見返りがあればもっと協力をしていただけるのではないかと考える。そこで、寄付していただいた金額の3割ないしは4割を商品券でお返しをするという取り組みはできないか。そうすればその商品券分のお金も市内で動くことになる。

**答** それが可能かどうか時期的なものの等について協議してみたい。

**問** 商品券を別枠で発行することは可能なのか。

**答** 敬老祝い金分も別枠で発行しており可能だと考える。

**問** この取り組みについては予算的なことも何も問題がないわけでお礼の品の中に商品券という項目を付け加えるだけだ。すぐにも取り組む気はないのか。

**答** やってみたいと思う。市外からの通勤者、市の職員、病院関係者にお願いをしていきたい。

**問** 確定申告の際も市が責任を持つてお手伝いをするということは可能か。

**答** 当然、サービスとしてさせていただく。

**問** 寄付していただいた方にとってメリットがありますよということでも少しでも収入を増やすよう取り組んでいただきたい。

**問** 市の特産品を送るという取り組みは全国の何百という自治体で行っているが、近隣市町村から通勤している人にとって魅力があるとは思えない。納税をしてみようと、まず2000円の自己負担、そして納税と確定申告の手間と、金銭的・時間的な負担をしていただくことになるが、それ以上の見返りがあればもっと協力をしていただけるのではないかと考える。そこで、寄付していただいた金額の3割ないしは4割を商品券でお返しをするという取り組みはできないか。そうすればその商品券分のお金も市内で動くことになる。

## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



西原 繁朝議員

## 職員の不祥事について

**問** 昨年の嘱託職員の不祥事以降どのような再発防止策を講じたのか。

**答** 地区館長に協議会事務を適正に行うように指示するとともに、地区館担当の中央公民館職員が四半期ごとにチェックを行ってきた。ただ、中地区住民自治協議会については、正職員が直接担当していたのでチェックができていなかった。

**問** 一年の間に全く同様の不祥事が再発した原因についてどのような分析しているか。

**答** 長年の慣例、習慣で職員が会計事務をひとりで行い、チェック機能が全く働いてなかったことが大きな要因と考えている。再発防止策が徹底できていなかった。

**問** 一連の不祥事から、各住民自治協議会に通帳と印鑑を引き渡し、会計事務を自前で行うように協議会に求めているが、住民自治協議会の立ち上げの経緯からしても、徹底した再発防止策を講じながら市が引き続き会計事務を手伝って信頼回復に努めるべきではないのか。

**答** 最終的には、住民自治協議会で管理することを目指したいが、事故が起きたから、この段階で

返すとは行かない部分もあることは承知した。通帳と印鑑は別々のものに管理させるとともに出納簿を記載させ、定期的な監査も実施する。

## 防災について

**問** 地震や豪雨時の備えとして避難所を定めているが、耐震性に乏しい建物や、地震による津波を考えると、避難所に避難する方が危険と思われるところが指定されている。避難所の見直しをするべきではないか。

**答** 3月中に避難所の選定作業を終え、ハザードマップに記載して6月の梅雨前までに行政区に配布するよう計画している。

**問** 海岸部に立地する幼稚園や小学校もいずれ建て替えの時期が来る。建て替えが逼迫していない今から議論をすべきではないか。

**答** 児童数の推移も見ながら議論を重ね、移転等が必要であれば高台も候補に入れて検討したい。

## 乗合いタクシーについて

**問** 乗合いタクシーの登録者数及び利用実績はどのようになっているか。

**答** 登録者数は市内全体で2,216人である。稼働率の高い地域は、北杵築・東山香・上線では60%台。低い地域は杵築・奈狩江・山浦線で約10%台となっている。



副議長  
阿部 幸市



議長  
富来 征一

## 平成25年 第1回臨時会概要

平成25年第1回臨時会を5月1日の間の会期で開催しました。この臨時会では、市長から提出された議案及び報告、議会側からの提出議案を審議し、いずれも可決、承認されました。また、議長・副議長及び一部事務組合議員等の選挙並びに各常任委員会等の委員の選任を行いました。

## 議案等の審議結果

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
62	杵築市農産物直売所条例の一部改正について	可決
〔議員提出議案〕		
4	杵築市議会会議規則の一部改正について	可決

※報告（市長の専決処分）については省略しています。

## 常任委員会以外の委員会構成 .....

	委員会名	役 職	氏 名
1	広報広聴委員会 (定数6名)	委員長	藤 本 治 郎
2		副委員長	西 紀 子
3		委 員	阿 部 幸 市
4		委 員	河 野 正 治
5		委 員	岩 尾 育 郎
6		委 員	西 原 繁 朝

	委員会名	役 職	氏 名
1	議会運営委員会 (定数6名)	委員長	小 春 稔
2		副委員長	河 野 有二郎
3		委 員	河 野 正 治
4		委 員	西 紀 子
5		委 員	井 門 仙 一
6		委 員	加 来 喬

## 一部事務組合議会及び広域連合議会への派遣議員 .....

	議 会 名	氏 名
1	杵築速見 消防組合 (定数5名)	有 田 昭 二
2		河 野 有 二 郎
3		中 山 田 昭 徳
4		加 来 喬
5		藤 本 治 郎

	議 会 名	氏 名
1	杵築速見 環境浄化組合 (定数5名)	阿 部 幸 市
2		河 野 正 治
3		渡 辺 雄 爾
4		井 門 仙 一
5		西 原 繁 朝

	議 会 名	氏 名
1	別杵速見地域広域 市町村圏事務組合 (定数7名)	真 砂 矩 男
2		小 春 稔
3		阿 部 直 瑞
4		堀 寿 満
5		西 紀 子
6		阿 部 長 夫
7		岩 尾 育 郎

	議 会 名	氏 名
1	大分県後期高齢者医療 広域連合 (定数1名)	富 来 征 一



## 総務常任委員会

### ■総務委員会の所管課■

市長政策課、総務課、財政課、契約検査課、税務課、人権・同和対策課、山香振興課、大田振興課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項および他の委員会に属しない事項



委員長  
岩尾 育郎



副委員長  
加来 喬



委員  
有田 昭二



委員  
富来 征一



委員  
河野 有二郎



委員  
渡辺 雄爾

## 厚生文教常任委員会

### ■厚生文教委員会の所管課■

福祉対策課、高齢者支援課、市民課、子育て・健康推進課、生活環境課、病院および教育委員会（教育総務課、学校教育課、生涯学習課、スポーツ振興課など）の所管に属する事項



委員長  
河野 正治



副委員長  
藤本 治郎



委員  
真砂 矩男



委員  
阿部 直瑞



委員  
西 紀子



委員  
中山田 昭徳

## 産業建設常任委員会

### ■産業建設委員会の所管課■

商工観光課・農林課・耕地水産課・建設課・上下水道課および農業委員会の所管に属する事項



委員長  
西原 繁朝



副委員長  
井門 仙一



委員  
阿部 幸市



委員  
小春 稔



委員  
堀 寿満



委員  
阿部 長夫

# 議案の賛否一覧表

※議案等に対して、「賛成」が「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案番号	議 案 等 名	結 果	表 決 数  賛成：反対	議員名（議席番号順）																	
				1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20
				加 来 喬	藤 本 治 郎	西 原 繁 朝	岩 尾 育 郎	阿 部 長 夫	井 門 仙 一	渡 辺 雄 爾	中 山 田 昭 徳	西 紀 子	堀 寿 満	阿 部 直 瑞	河 野 正 治	小 春 稔	富 来 征 一	真 砂 矩 男	有 田 昭 二	阿 部 幸 市	河 野 有 二 郎
議案第1号	平成25年度杵築市一般会計予算	可 決	15 対 2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第27号	杵築市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	可 決	15 対 2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	杵築市企業立地促進条例及び杵築市税特別措置条例の一部改正について	可 決	15 対 2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

## 6月定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

6月 6日（木） 平成25年第2回定例会開会  
6月10日（月） 一般質問  
6月11日（火） 一般質問・議案質疑  
6月12日（水） 一般質問予備日

6月14日（金） 産業建設常任委員会  
6月17日（月） 厚生文教常任委員会  
6月18日（火） 総務常任委員会  
6月21日（金） 平成25年第2回定例会閉会

## 新たに 広報広聴委員会 を設置しました。

### 委員会の主な活動内容



きつき市議会だよりに関すること



市議会のホームページに関すること



市民との意見交換会に関すること

議会報編集特別委員会  
委員長 岩尾 育郎  
副委員長 河野 正治  
委員 西原 繁朝  
委員 阿部 直瑞  
委員 西紀 子  
委員 西紀 子



市民の皆さまに市議会の活動をしっかりと伝える紙面づくりを心がけ、これまで活動してまいりましたが、今号のきつき市議会だよりをもちまして議会報編集特別委員会の活動は廃止となり、今後議会報を含む広報活動は広報広聴委員会に引き継がれることになりました。  
今後ともきつき市議会だよりをご愛読いただきますようお願いいたします。

編集後記